

日記

一月一日 初風呂、晴れて暖かな元旦、早朝清夫婦來、正午白菜、葱、芋、雜煮それから終日無爲ぼんやり。夜食房子の玉子で鳥、竹の子、山芋、莢豌豆、お茶は房子の金柑、二水のカステラ。

一月二日 曇つて寒い。午後二水來、清閑談。夜食房子の玉子で肉、竹の子、山芋、莢豌豆、お茶は房子の金柑二水のカステラ美味しい。

病狀自覺症狀悪化いよいよ呼吸困難左肺キリキリ。

一日も二日も矢張賀狀タクサン。

日本文藝、冬野、鹿笛、石狩、山櫻、協和、日本文藝編輯所、房子、一兵、山梔、日本俳句作家協會。

一月三日 晴れて暖かい。

夜咯血呼吸困難。(郵) 賀狀タクサン。

一月四日 晴れて暖かい日光の部屋で、消息書初、それから終日臥床。(郵) 房子、國平。

一月五日 晴れて暖かい。日光の部屋。又胸打つ。正午二水夫妻來。午後消息タクサン書了。

一月六日 晴れて暖かい。午後市野倉行、運送屋子へ、往來して呼吸困難、日本目茶猛烈で、戻つて臥床血痰。

一月七日 時雨れて寒氣猛烈、午後添削整理。夜雪、寒氣猛烈、呼吸困難猛烈、セキ猛烈、いよいよ苦しくなる。雪。(郵) 濛雨、正一郎、一二、甲鳥書林、ホトトギス速達。

一月八日 朝大風時雨で寒氣猛烈。午後から薄日、呼吸困難、セキ猛烈、いよいよ苦しく終日臥床。

夜月コーコー、雜詠清書。(郵) ホトトギス發行所、日本文藝編輯所。

一月九日 晴れて暖かい。日光の部屋、午後から薄曇。呼吸困難、終日臥床で雜用山積、整理不能。

一月十日 曇つて寒い。終日臥床、夜房子其他、雜詠整理一氣終了。(郵) 房子(食) 朝卵二つ、甘藷あんかけ、夜トマト一つ、肉ごぼろ。

一月十一日 晴れて暖かい。日光の部屋で整理。終日チチ、夜雜詠豫選半分。

(食) 朝房子の生玉子二つ、甘藷あんかけ、夜ヤキマグロ、豆腐葱汁。(病) 例年の如く舌痛ヒリヒリ、終日猛烈。

* 茅舎は病苦に關ひつゝ日記をつけ通した。一部紛失のものもあるが概ね現存してゐる。その文字は楷書で一字一句も忽にせず、驚くべく眞摯正確なもので、貴重な遺稿である。一小部分を載せることにした。昭和十六年(没年)初の日記。